

## 仙之倉山荘への思いと報告

平澤さん（29C）と望月（35C）が、10月30日に行われた山荘の薪入れ、雪囲い作業のお手伝いに出掛け、その内容をカナダにお住いの高橋さん(29C)に報告したところ、秋深い山荘と周りの自然を楽しんでいただき、早速、昔の山荘の焼き鰻絵を送っていただきました。そこで、この山荘便りは、この焼き鰻絵からスタートします。



山荘については勿論の事、前庭にあるドラム缶風呂にも、たくさんの思い出が詰まっているそうです。入荘した同期の皆さんが、入れ替わり入浴し、面白い話や、トラブルもあったそうです。詳しい内容を同期の平澤さんに聞けば、教えてもらえるでしょう。そのほか、カナダにいるかわいい動物の焼き鰻絵を送っていただいたので、機会を改めて紹介したいと思っております。

続けて、「山荘薪入れ、雪囲い作業に参加」報告をお読みください。

山岳部 OB と現役のワンダーフォーゲル部員が、一体となって今年の山荘維持共同作業を行いました。紅葉に輝く山荘や、懐かしい毛渡沢、仙之倉、万太郎、平標の山々の写真をバックに参加した皆さんが、元気で満足そうな様子を見ながら読んでいただければ幸いです。

望月恭一



## 山荘薪入れ、雪囲い作業に参加 (2021/10/30)

平澤英昭 望月恭一

二人はそれぞれ上越新幹線を利用し、越後湯沢駅で会い、  
水上行の上越線に乗り換え、土樽に向かう。

越後湯沢発 9:54 土樽着 10:09



駅から県道に出ると左平標方面 右蓬峠/茂倉岳方面と道標がある

ここから 10:20 スタート



県道から平標・山荘への林道に入る

(1)





鉄橋潜り抜け振り返ると昔の上越本線鉄橋の雰囲気が残っていることに気が付く。  
昔は、県道に降りることなく、この鉄橋を渡って山荘に向かったことを思い出す。



上越在来線 毛渡沢鉄橋  
左側：旧線・現上り線、右側：新線・現下り線（平澤 撮影）  
（2）



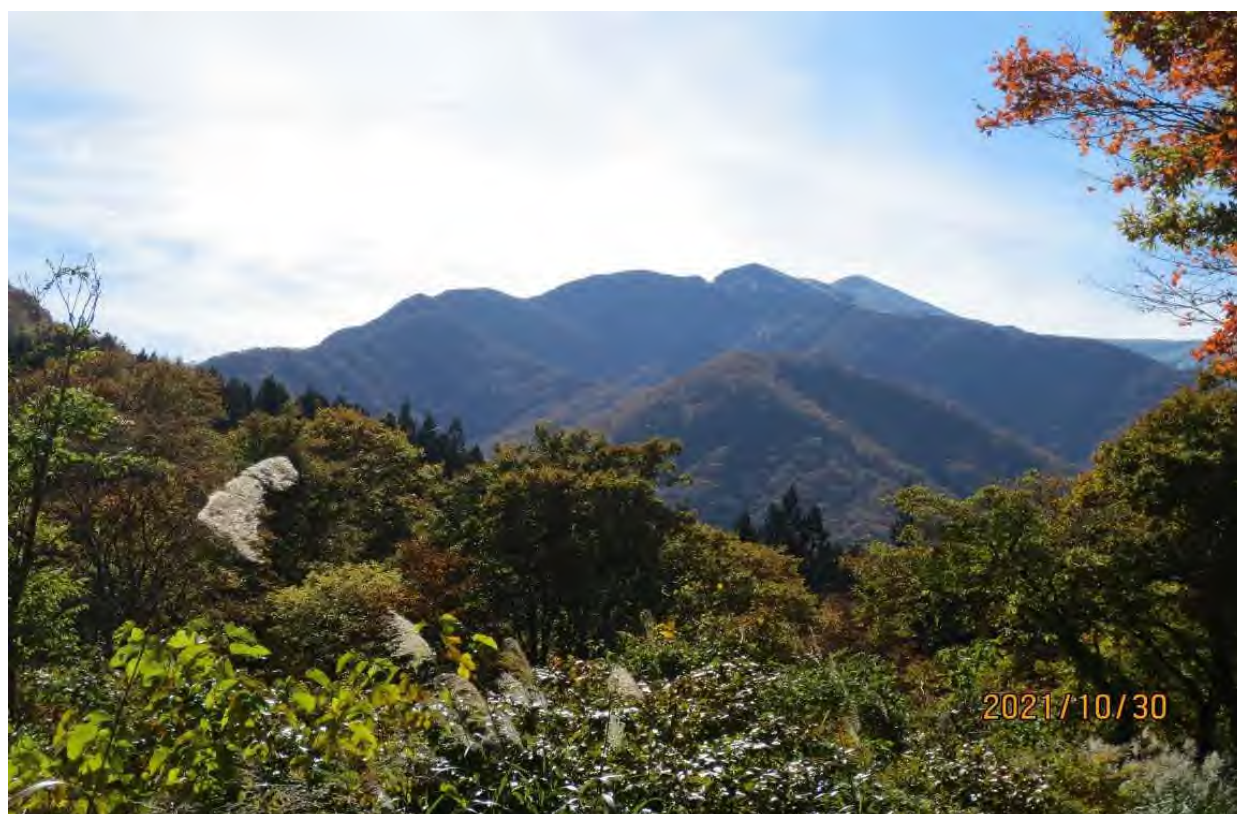


毛渡沢にかかる橋から遥か平標山・西ゼン方面を望む。ここで、作業する仲間と学生の車に追いつかれる。

学生さんたちにゲート鍵の開け方を教えたのち、皆さんは一緒になって車で山荘に向かう。

ここには林野庁が設けたゲートあり、自動車が10台ぐらい駐車できる

11:30



上記同所（林道ゲート付近）から北尾根・仙の倉を望む（平澤 撮影）

(3)





約 2 時間のウォーキングを楽しみ、紅葉の山荘に到着

12:20



山荘近くからの万太郎山をのぞむ

昼食後作業開始、5 日前山荘下に運び込まれた薪を山荘内や山荘のまわりに積み込む。

今年 5 月から始めたストーブの煙突の補修を完了させ、ストーブに火をつける。

そして OB 仲間の指導の下、5 名の学生が高い山荘の外壁まわりに登って

雪対策のネット張りを行なった。

(4)





煙突を修理してストーブに火をつけたのち、煙突の先から白い煙が立ち上るのを確かめた。  
(今野さん 撮影)



作業終了後の記念写真  
右から二人目 望月  
(中林さん 撮影)





後列左から 中林 相川 萩原  
前列左から 平澤 下田 大出 今野 福沢 檜原 大塚  
14:30 退荘

平澤、望月は中林さんの車で越後湯沢駅まで送ってもらう。  
それぞれ 18:00 過ぎに自宅着

(写真の記名以外は望月撮影)

以上